

クマ出没からペット動画炎上まで 「そんな相談もあるの？」に答えるペット弁護士®

ペット弁護士® 中間 隼人 氏について



中間 隼人（なかま・はやと）

ペット弁護士®

弁護士法人なかま法律事務所代表弁護士、
一般財団法人犬猫生活福祉財団評
議員、神奈川県弁護士会所属。

横浜市出身、上智大学法学部卒業、一橋大学
法科大学院修了。

平成27年3月、なかま法律事務所独立開業。
平成29年、動物法務士(FASA認定)資格取
得。令和元年、中小企業診断士合格。
愛玩動物飼養管理士2級。

ペット弁護士®として、動物病院、ペットホテル、ブリーダー等、多くのペット事業者の顧問弁護士を務めるほか、自治体の動物取扱責任者研修、セミナーなどを通して、「人と動物が心豊かに暮らせる社会の実現」ミッションとし、幅広く活動している。弁護士ドットコム・弁護士ランキング神奈川県第3位(2020年4月30日)などの評価を得ている。

「こんな事件もあるの？」変わり種の動物トラブル例

- ・愛犬が婚約指輪を誤飲。治療費、指輪代、管理責任は誰が負う？
- ・SNSで人気の看板猫が来店客をひっかけ、店の責任が問題に
- ・ペットホテルに預けたら別の犬のように痩せて帰ってきた
- ・トリミング事故で“モデル犬”の仕事に影響、見た目の損害は認められる？
- ・ペット可カフェの犬用メニューで体調不良、店側の説明責任は？
- ・元交際相手と別れた後、同居していたペットの“親権”をめぐる対立
- ・畜舎のにおい・鳴き声に近隣住民から苦情。家畜との共生はどこまで配慮が必要？
- ・亡くなった飼い主が「全財産を愛猫に」と希望、実現できる？
- ・保護猫活動の寄付金や譲渡条件をめぐり、SNSで炎上
- ・YouTube撮影のためにペットへ過度な演出、虐待と評価される可能性
- ・野生動物に餌やりして動画撮影、近隣被害や行政指導につながる
- ・ベランダにハトが巣を作ったが、勝手に撤去してよいのか問題
- ・住宅街にクマが出没。駆除への苦情と住民の安全、行政はどう対応すべき？